

K.I.（英語英文学科・2 年次生）

I. 留学レポート

① 留学を目指した理由

自分の語学力、特に苦手だったスピーキング・ライティング力を伸ばしたい、またより実用的に英語を使えるようになりたい、そして現地の人々との交流、現地の文化を肌で感じることを通して、自分の世界・視野を広げたいと思い、留学をしたいと思いました。私はとてもこわがりで、人見知りで、海外へ行ったこともなかったので、自分がまさか一人で留学へ行くなんて思ってもいませんでしたが、小学 6 年生からずっと英会話を習っていた影響で大好きになった英語をこの大学で勉強するうちに、もっと自分の英語を磨きたい、大学生という様々な学びが得られ自分が挑戦したいと思えることに挑戦できる時期に留学をしたい！目指そう！と思ったので一歩踏み出し、留学を希望しました。

② 留学決定から出発までの準備期間

私はパスポートを持っていなかったもので、留学決定後はすぐにパスポートを作りました。様々な書類や時間が必要になるので持っていない方は早めに動き出すのがいいと思います。カナダはビザがいらないので、ビザ申請の心配はないです。留学前の語学勉強に関しては、私は、現地での会話に少しでも役立つといいなと思い、ラジオ英会話を毎日聴いたり、単語やフレーズを覚えたりしていました。また、文法が苦手だったので「一億人の英文法」という文法の参考書を読んでいました。

③ 現地到着後

現地の最寄りの空港であるモンクトン空港に MASSIE 担当のロビンさんとサポート学生さん一人が目印となる紙をもって、空港まで迎えに来てくれていました。他の MASSIE の学生さんともそこで初めて合流しました。そしてバスに約 30 分乗って、大学の寮まで送っていただきました。到着したのが夜中だったので、その日はそのまま終了し、次の日から 3 日間、MASSIE のオリエンテーションがありました。MASSIE のプログラムの説明や、先生やサポート学生さん、キャンパスなどの紹介をしてもらったり、ショッピングに行ったりしました。そこで洗剤とノートを購入しました。秋学期だったので、マウントアリソン大学の新入生のオリエンテーションも続けて 3 日間行われ、それにも参加しました。大学内の寮対抗のダンス発表会のため、朝から集まって練習し、本番は寮それぞれの T-シャツを着てグラウンドで披露したり、ヨガ教室やお絵かきイベント、映画上映会など様々なイベントに参加したり、留学生セレモニーにおめかしをして参加したりなど、現地の学生生活が一気に濃縮されたような濃い時間をついてまもなく体験することができ、とても充実していました。そこで多くの現地の学生さんとも交流できます。このように秋学期の MASSIE の魅力の一

つは、新入生と同じタイミングで留学生活が始まるので、大学の新入生オリエンテーションにも参加できることだと思います。

④ 語学研修機関

a. 施設・環境・スタッフ

マウントアリソン大学は、自然豊かなキャンパスです。秋学期に行くと、夏の綺麗な空模様や緑の豊かな景色、秋のカエデの美しい紅葉、冬の素敵な雪景色など、季節の美しさを感じることができます。大学周辺のダウンタウンも比較的治安がよく、フレンドリーな町です。小さな町ですが、生活用品のお店や雑貨店、スーパーなどは揃っていますし、古着屋やカフェ、レストランも意外と豊富にあります。スタッフさんや現地の学生は皆さんとても優しく、あたたかくて、寮暮らしの MASSIE 学生にとって家族のような存在です。不安や悩みがあればすぐに相談できる環境で、留学生活をとて手厚くサポートしていただきます。

b. 授業内容、課題、試験

ディスカッションや、プレゼンテーション、ディベートなど積極的・実践的に英語を使い、語学力を磨く授業、自分の意見を持ち、積極的に発言したり、様々なボキャブラリーやイディオムを習い、ロールプレイをしたりする授業、様々なエッセイを書き、アカデミックなライティング能力を磨く授業、TOEIC に特化した授業、カナダのカルチャーを学ぶ授業など、楽しく、自分の英語力を伸ばせる授業ばかりです。わからないところはすぐに聞ける環境で、初めは手を挙げることは勿論、人前で話すことやプレゼンテーションなどの発表も大の苦手でしたが、先生方も優しく、フレンドリーに、詳しく教えてくださいましたし、毎回授業や課題に対して丁寧で細かいフィードバックをくださるので、温かい雰囲気の中で、楽しく学ぶことができます！発言することが大の苦手でも、自主的に発言することが楽しくなるほどです。課題はほとんど毎日ですし、ロールプレイなどは前日に課されたり、長時間のプレゼンテーションなども短期間で準備・練習をしなければいけなかったりする場合もあるので、大変だと感じることも多いかもしれません。試験は月に一回、二日間に渡って行われます。授業や課題に毎回しっかりと取り組んでいれば、心配ないです！

⑤ クラブ、課外活動、ボランティア活動

MASSIE は毎週金曜日や土曜日に Weekly Activity といって課外活動があります。小学校や消防署へ訪問にいたり、アートギャラリーへ行ったりします。秋学期は Halloween のかぼちゃを掘ったり、カーリングをしたり、プロのホッケーゲーム観戦に行ったりなど、カナダのウィンタースポーツを楽しむことができます。毎週の Weekly Activity に加え、月に一回、プリンスエドワード島などの近くの観光地へ小旅行に行ったり、カナダのご家族のお家を訪問し、一緒に日本料理を作って食べるという Japanese cooking 教室をしたりなど、現地の様々な文化を体験することはもちろん、日本の文化とも向き合い、現地の人に日本を

紹介する等、幅広い経験ができます。このように MASSIE は課外活動が盛んで、充実した留学生活を送ることができます。

⑥ 現地での住まいについて

マウントアリソン大学にはそれぞれ特徴が異なる、様々な寮があります。秋学期の MASSIE は、事前に提出したアンケートをもとに Bennett House、Hunton House のどちらかに振り分けられ、2 人部屋での寮生活を送ります。お風呂やトイレ、洗濯機なども寮の人と全て共有です。食事はミールホールで土・日・祝日欠かさず、朝・昼・晩毎日提供されました。私はピザやフィッシュアンドチップスが特にお気に入りでした。寮は大学のキャンパス内にあるので、通学はとても楽です！

⑦ 長期休暇の過ごし方

MASSIE の秋学期は 11 月に一週間ほどの休暇期間がありました！私はトロントとケベックに一人旅行をする予定でしたが、前日から体調が悪くなってしまい断念しました。体調がよくなってから、大学のお絵かきイベントに参加したり、近くのモンクトンへいき、買い物をしたり動物園に行ったりして楽しく過ごしました。先生方や現地の学生さんの沢山のあたたかいサポートで楽しむことができました。大学の国際課のようなオフィスでスタッフの方もホテルの予約や飛行機の予約、タクシーの予約等を手伝ってくださったり、不安等を相談したりして旅行の計画をお手伝いしたりしてくださるので、安心です！その期間に、三都市に旅行に行っている学生が多かったです！

II. 留学の感想

① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

Weekly Activity で様々なところへ旅行に行ったり、現地の文化を体験したりしたので、すべてが濃くて思い出深いものばかりですが、なかでもプリンスエドワード島に行ったことが思い出に残っています。町には赤毛のアンをモチーフにしたかわいらしいお店がいっぱいで、メルヘンな町並みがとても素敵でした。アンを恰好をして、写真をとれるフォトスポットで MASSIE の皆で写真を撮ったり、プリンスエドワード島といえば、のロブスターや有名なアイスクリームショップのアイスを食べたり、National park にある海に行って、穏やかな時間を過ごしたり、とっても素敵な時間を過ごしました！また、先ほども述べた Japanese cooking 教室も非常に貴重で忘れられない思い出です。いくつかのお家を訪問し、老若男女様々な人々と一緒に日本料理を作って、完成したご飯を囲んで団らんしながら食事をしたり、クリスマスツリーを飾ったりしました。作った日本料理を喜んで食べてくれたことが非常に嬉しかったです。寮生活だったのでカナダでホストファミリーができたように、とても幸せなひと時でした。

② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

やはり、課題や授業にとっても苦労しました。80 分間や 40 分間などの長時間のプレゼンテーションをしなければならなかったり、毎週前日に課されるロールプレイがあったりでキャパオーバーになることも多くありました。さらに、MASSIE の授業は主体性が必要とされ、自分が苦手としていた、人前で積極的に発言することや、ディスカッション、プレゼンテーションやディベートなどをする機会が多く、やり遂げることができるかなと毎日不安や焦りと共に、課題に取り組んでいました。しかし、わからないところはすぐに聞ける授業の雰囲気や、詳しく親切に教えてくださる先生、毎回の丁寧で細かい先生からの課題や授業に対するフィードバックのおかげで、また休み時間や空き時間を利用し、実際に教室の前へ立ってみて、プレゼンの練習を重ねるなど、自分なりの練習方法や努力をしながら、前向きに課題や授業へ取り組むことを意識して、頑張りました。

③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

レストランやお店ででてくる食べ物の量が日本より多いなと感じました。しかしカナダでは食べ残しを持ち帰るのが普通で、持ち帰り用の箱などをくれるので全部その場で食べられなくても大丈夫です！また、チップを払わないといけなかったり、少々物価が高かったりするので、予想以上にお金がかかるかも...！と驚きました。

Ⅲ. 留学希望者へのアドバイス

① 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは授業や課題で絶対に必要なもので、必ず持っていくべきです！
また、お茶漬けやみそ汁、カップラーメン、レンチンのお米などの日本食もあると幸せな気持ちになるし、体調が悪いときに普段の味を食べられると安心するので少しは持っていくのがおすすめです。

お薬も必須だと思います。私は普段飲んでいる薬に加え、お腹を壊しやすいので、腹痛などに関する薬や体調不良・発熱したときのために、解熱剤や頭痛薬などの効果がある市販薬などを持っていきました。あると安心しますし、強い味方です！また、自分の肌に合う化粧水やクリームなどの基礎化粧品などや、こだわりのあるシャンプーやコンディショナー等は詰め替え用なども期間をしっかりと考えて持っていきました。ドライヤーはもっていかなかったのですが、現地で借りられるものは使い心地がよくなく、いつもルームメイトの子のものを借りて共有させてもらっていたので、持っていったらよかったと後悔しました。

② 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

TOEIC のスコアは留学前と比べて約 100 点上がりました。また、帰国後は、外国の方に道を聞かれた際に、留学前と比べて、スラスラと聞き取れ、会話を楽しみながら案内ができ

るようになったことや、留学前は 100 文字や 200 文字のエッセイを書くだけでもかなり時間がかかり、エッセイを書くことが難しいと感じていたけれど、帰国後は 500 ワード以上のエッセイでも書くことに抵抗感がなくなり、使えるボキャブラリーや表現の幅も広がったと感じたり、人前で話すことが大の苦手だったのですが、ロールプレイやスピーチ、かなり長いプレゼンテーションもできるようになったりなど、スピーキングやリスニング、ライティング能力の向上を実感することが様々な場面でありました。また、自分の意見をしっかりと持ち、積極的に自分の意見を発表できるようになるなど積極性や、様々な人との多くのディスカッションを通して、コミュニケーション力も身についたと思います。

③ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

何かに挑戦する一歩を踏み出すのはとても勇気がいることだと思います。私も応募期間中、何度も悩みましたし、留学前も常に不安を感じていました。留学中も決して楽しいことばかりではありませんでしたが、今では本当に留学に行ってよかったと思っています！「語学力向上」だけでなく、多様な人々との交流や現地の文化の体験を通して「自分の視野の広がり」や、授業や他国での生活を通して自分を成長させることができた実感しています。沢山の素敵な人や場所との出会いも待っています。少しでも留学をしたい！という気持ちがある方は躊躇わず、是非一歩踏み出して挑戦してみてください。応援しています。

IV. 将来の目標

① 今後の進路、将来の目標・夢

卒業までに TOEIC のスコアを 850 点以上取得することが今の目標です。また習得したこの語学力を活かして、将来はもちろん英語を使う職業に就きたいです。まだ明確な夢はないのですが、翻訳業に非常に興味があるので、翻訳に関する学びを深めたいなと思っています。また、留学先での先生方や学生、スタッフさん方のあたたかいサポートに非常に助けられ、留学後、私も同志社女子大学に留学に来ている学生さん達に関わりたい・留学や日本での生活をサポートしたいという思いが強くなったので、国際課のイベントに参加するようになりました。これからもこの活動やイベントに積極的に参加したり、様々な国の学生さん達と交友を深めたりしていきたいです。

V. 写真



←留学先の大学のラジオ局で、ペアになり英語で DJ をするという Activity の時の写真です！自分達で話す話題や構成、流す曲を考えるのは少し大変でしたが、ラジオをするという非常に貴重な体験もできて、終始ワクワクしていました。日本でも聞くことができるので、時差があるにも関わらず父と母が聞いてくれ、ほめてくれてとても嬉しかったです。



←MASSIE の皆とプロのアイスホッケーの試合を観戦した時の写真です！秋学期の MASSIE ではこのようにアイスホッケーの試合を見に行ったり、カーリングをしたり、カナダのウィンタースポーツを楽しむことができます。会場は寒いのに熱気で包まれ、白熱した戦いを見ることができてとても楽しかったです。MASSIE の皆でモニターに抜かれるという特別な体験もしました！